

# さぬき野

かがやくけん、かがわけん。

## 香川県

2024 No.84

### 春

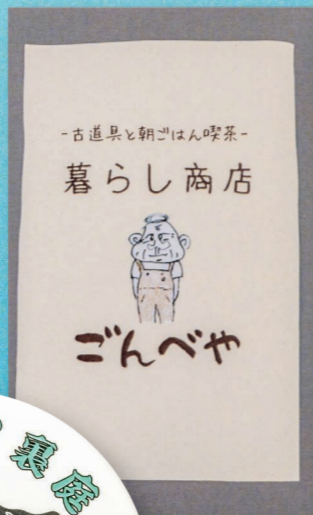
特集

#### 香川は桜色。

知事対談

渡邊 雄太 × 池田 豊人

幸せを届けるフルーツバター。



海辺の図書館に泊まる。

香川に住んで  
はじめたこと



観音寺市大野原町は、温暖な気候と水はけのよい土地に恵まれ、良質なかんきつ類が採れる地域だ。フジカワ果樹園は、そこで温州みかんや中晩柑などかんきつ類を栽培している。代表の藤川寿夫さんは、地域の高齢化が進み地元では収穫の人手を確保できない状況に頭を悩ませていた。そこで



### 「農業に夢を抱く若者は、同志」 フジカワ果樹園

代表の藤川さん(中央)、岡田さん(右)、清水さん(左)。岡田さんも清水さんも単身で移住し、香川県で結婚して家庭を持った。



農業を担う人材を全国から募集するサイトに登録したところ、次々と若者がやって来た。「日本には農業に夢を持つ若者がたくさんいる」と感じた藤川さん。2011年に初めて兵庫県の男性を社員として招いて以降、住居や米も提供し、生活を支えながら栽培や経営を指導。全国から就農希望者を受け入れてきた。

最近注目度の高い瀬戸内海沿岸のレモン。収穫する女性も、果樹栽培に興味を持ち愛知県から。



出荷場で直販も。生産者と一緒に話し、さまざまな品種から好みのかんきつを選ぶ。

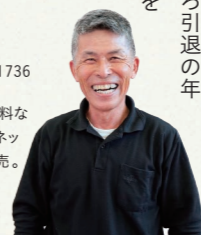
「地元の人脈をたどって、栽培条件の良い園地を代表が確保してくれました。今もいろいろ相談がてら遊びに来ます」と岡田さん。他にも3人の県外出身者が周辺で独立している。大阪府出身の清水義英さんは、フジカワ果樹園で出荷管理、人事を担当する。二十代に海外を放浪した後しばらく沖縄県宮古島に住み、大野原町に。「気候、仕事、人と人との関係。全てが穏やか」と暮らす場としてもここが気に入った。「土と共に働くのが農業。他県から来る人は、遠く故郷を離れてでもこの土地で挑戦したい、という覚悟がある」と藤川代表。そろそろ引退の年齢と言いつつ、農業に熱い若者を」と共に働きたくなる。



皮の苦みを拾わない特別な絞り方で製造した100%のみかんジュースを通年販売。



フジカワ果樹園  
香川県観音寺市大野原町丸井1736  
10種以上のかんきつ類を有機肥料などを用いて丁寧に生産し、自社のネットショップで消費者に直接販売。全国の販売店にも卸している。



フジカワ果樹園  
代表取締役 藤川寿夫さん

## さぬき野 2024 春

香川県に関する問い合わせ

- 香川県広聴広報課 〒760-8570 香川県高松市番町4-1-10 TEL087-832-3078
- 香川県のホームページ <https://www.pref.kagawa.lg.jp/>
- さぬき野のページ <https://www.pref.kagawa.lg.jp/kocho/koho/sanukino.html>
- 香川県東京事務所 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3都道府県会館9階 TEL03-5212-9100
- 香川県大阪事務所 〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-18-24クロスシティ心斎橋4階 TEL06-6281-1661

多言語電子書籍でもご覧いただけます。無料アプリ「カタログポケット」をインストールして「さぬき野」で検索してください。

iOS



Android



かがやくけん、かがわけん。

## 香川県



# 読む、買う、食べる。 海辺の町 「ウラツダ」を 旅する。

**古** い屋敷をリノベーションした「うみの図書館」は、私設図書館であり、ゲストハウスでもあるユニークな施設。地域唯一の図書館として、地元の方でも観光客でも垣根なく利用できる。海まで徒歩30秒という立地なので、ここで本を借りて海辺で読書するのが気持ちいい。また、ゲストハウスにも図書館らしい仕掛けがある。部屋番号が本の分類番号になっているのだ。その分類に応じた本が部屋に置かれており、もちろん貸し出し可能である。ここに泊まることで、知らなかった本と巡り会えることを期待している。

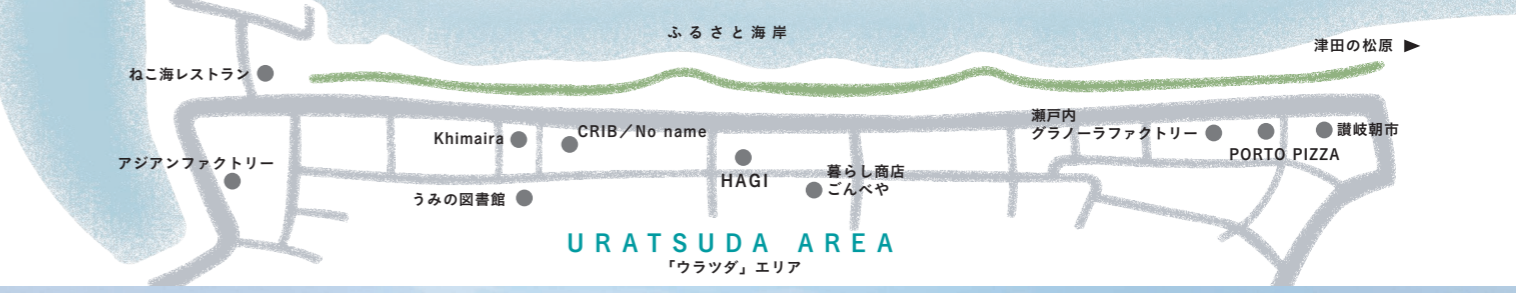
図書館を管理しているのは、大学卒業後すぐに移住してきた若き館長・**鍋木航河**さん。海のない群馬で暮らしてきたから海辺の暮らしに興味があり、学生時代に津田のゲストハウスに滞在したことが町との出会い。静かな雰囲気と暮らしている方の穏やかな人柄を気に入って移住を決めたという。社会人経験がないまま施設を運営することになり、戸惑うことも多いそうだが、焦りの表情はない。地域の人と手を取り合いながら、一歩ずつ図書館を成長させていくつもりである。

## ウラツダ旅の拠点 1冊の本から旅が生まれる図書館。

鍋木さんが一番思いを込めているのが、貸し出し期間2年という図書館のルールである。2年の間に再び津田を訪れて本を返却してもいいし、提携している他県のゲストハウスや飲食店などに返却してもいい。「本が旅をして、本から旅が生まれる。新しい旅の動機が生まれる場所にしたい」と考えている。目下の目標は、提携先を全国に広げること。ウラツダ観光の拠点となる場所から、1冊の本をきっかけにする旅が広がるとうとしている。



県内だけでなく、県外からも若い移住者が集まっているウラツダ。新しいムーブメントが生まれる起点になりそう。



20代、30代の若者が集まり、次々とユニークな店をオープンしている海辺の町がある。さぬき市津田町、日本の渚百選に選ばれたビーチ「津田の松原」の中心部から北西に外れた一角。近年、古民家や倉庫を改装した店が次々と生まれ、一帯が「ウラツダ」と呼ばれるようになった。2023年5月には、ゲストハウスとして利用できる「うみの図書館」がオープン。宿泊施設が整ったことで、ウラツダの観光価値が高まっている。



うみの図書館  
香川県さぬき市津田町津田1418



図書館のオリジナルグッズも好評。



**バリダンサーは  
家具の目利き。**

アジアナファクトリー  
香川県さぬき市津田町津田1402-2



瀬戸内  
グラノーラファクトリー  
香川県さぬき市津田町津田1325-122

海辺の町で、  
ママのおやつを。



ウラツダを散策していると、時々現れる個性的な店。  
ふらっと立ち寄り、スタッフと話しながら土産を物色するのが楽しい。  
藍染めの体験や、月2回開催される日曜の朝市も見逃せない。

**ウラツダで  
買う、楽しむ。**

**徳** 鳥島で藍染めの修行をした堀尾早敏さんの工房「キマイラ」。アトリエには堀尾さんデザインの洋服が並び、空間にも深海のような濃いブルーがちりばめられて、美意識が刺激される。奥の工房では藍染め体験も行っている。90分ほどの作業でオリジナルのアイテムが出来上がる、小学生も参加できるプログラムだ。藍染め職人、アパレルデザイナーに加え、美術工芸作家の顔も持つ堀尾さん。「自分の思うかっこよさを、藍で多彩に表現したい」と語る。ウラツダをアートの方向へ引っ張る店だ。

**ア** ジアンファクトリーには、天然チーク材のテーブルから手仕事のカゴ細工まで、おびただしい数のアイテムが並び、オーナーは、バリダンサーに魅了されて現地で修行し、現役ダンサーとして活動中の大眉鉄平さん。バリメイドのリゾートスタイル家具と雑貨は、修行時代の土地勘を生かし、技術もセンスも秀でた工房を探して製作してもらった。主にネットショップで販売し、故郷の津田に店も構えている。別棟で作業している時は入り口が閉まっており、「ここに連絡ください」と、電話番号が書かれた看板が立つ。営業もおおらかにリゾートスタイルだ。

**心** の温度を1℃あげる」をテーマに、毎月2回開かれる「讃岐朝市」。野菜と果物、コーヒー、パンに雑貨など10店舗前後が出店する。主催する岡本裕介さんは、農業や食品分野の経営アドバイザー。「新鮮な農産物など地域の良いモノを広めたい」と8年前に始めた。こだわりを持った常連さんが眠い目をこすりつつやって来て、海を眺めては買い物し、いつまでも出店者と楽しく話をしている。人と人が心でつながる場でありたいと岡本さんは考えている。



**瀬** 戸内グラノーラ」は津田の水産会社に嫁いだ木村加代子さんが、子どものおやつとして作ったのが始まり。周囲に好評で、会社の一部門として製造を始めて8年目になる。ネットショップで販売し、食べやすいようクッキーのように固めて焼いたものが人気だ。会社の倉庫を改装してショップも作った。地元の人がおやつを買い求め、ネットに載せた海の写真を気に入って、他県から人が来ることもある。店の奥には製造工場があり、時折甘く香ばしい匂いが漂ってくる。



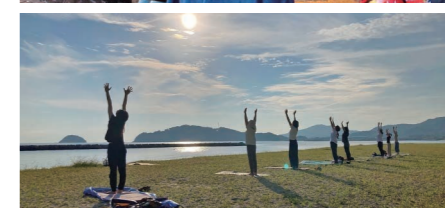
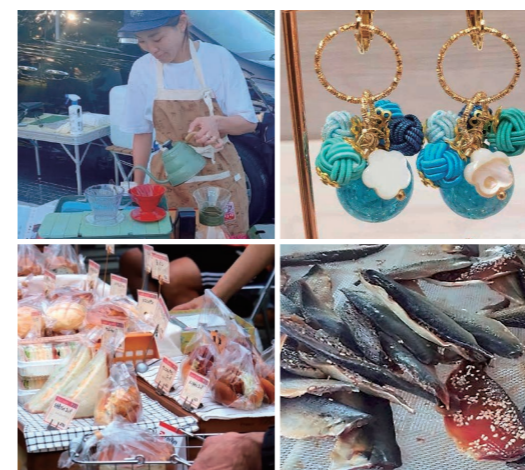
**Khimaira**  
藍の空間がのどかな  
通りを揺るがす。



Khimaira (キマイラ)  
香川県さぬき市津田町津田1391



朝の空気に包まれ  
買い物もおしゃべりも。



讃岐朝市  
PORTO PIZZA横の空き地で開催  
毎月第二・第四日曜日(冬期は休業)



HAGI(ハギ)  
香川県さぬき市津田町津田1374-4



PHOTO: enikon\_camera\_h.t



PHOTO: enikon\_camera\_h.t



### 「親戚の家」 のようなカレー屋さん。

「ハギ」には、しっかり辛い「ココナッツチキン」と、辛くない「和風キーマ」の、2種のスパイスカレーがある。「メニューを絞って食品ロスを減らしたい」「子ども食べられるカレーがほしい」「店主の野田夏実さんの、そんな思いがあふれる2皿だ。店は路地の古民家。昭和な雰囲気は、親戚の家に来たようでほっとする。「健康の原点である食に、しっかりと向き合える土地で暮らしたい」と、関東から故郷の香川県に家族で移住した野田さん。出産で休んでいたが、4月から、まずは週2日で営業を再開。



PORTO PIZZA(ポルト ピッツァ)  
香川県さぬき市津田町津田1325

### 窯焼きピザで ホットな交流が生まれる。

津田の海辺をイメージした、青いタイルに覆われたピザ窯が印象的な「ポルトピッツァ」。まきをくべ、高温で短時間焼くピザは、とろけるチーズともちもち生地との組み合わせが絶妙だ。この店は、一般社団法人さぬき市津田地区まちづくり協議会が運営しており、地域の内外が交流する「港II PORTO」となる店づくりが目標だ。現場を率いるのは兵庫県生まれの店長、折口洋一さん。昨年5月の開店以来、穏やかな笑顔でパワフルにピザを焼いて店を盛り立てている。「本番はこれから」と折口さん。季節のイベントなど、もっとアツアツな交流を生み出す仕掛けを計画中である。

### ウラツダで 食べる、飲む。

喫茶店と古道具屋がひとつになっている「こんべや」。朝7時から食べられる「今日の朝ごはん」が人気で、日替わりのおかずとお汁、ご飯が付いてくる。奥側に移動すれば古道具屋になっており、レトロな食器や日用品、書籍など昭和や平成初期を感じさせるアイテムが並ぶ。切り盛りしているのは、大阪から移住してきた山島裕希・瞳夫妻。「朝日のきれいな町だから、朝から遊びに来てほしい」との思いを込めて、朝食を食べられる店にしたという。観光客と町の人、みんなの憩いの場所である。

漁師町でもある津田。自慢の海産物メニューをはじめ、愛情のこもった料理を食べ歩くのは旅の醍醐味のひとつである。週末の夜にはバーもオープン。夜が更けるまで愉快的な時間を過ごせる。



### 「魚のおいしさ」 を伝えるレストラン。



ねこ海レストラン  
香川県さぬき市津田町津田1402-23  
毎週土・日曜日

「ねこ海レストラン」は「もっとたぐくさん、もっと楽しく魚介を食べてほしい」と、安岐水産が社屋の隣で運営するアンテナショップだ。安岐水産は瀬戸内海の水産物加工業で創業し、現在はアオリイカの加工を行っている。店内はたこ飯や魚のフライなど、地元の漁師から仕入れる魚介のお総菜が並ぶ。イカ焼きやイカ丼は、ファストフードのようにカウンターでオーダーする気軽なシステムだ。店の外には、目の前に海が広がるテラス席。予約すれば、ここでシーフードバーベキューもできる。

### 平

日は会社員として働く武藤拓人さんを中心に、地元の仲間が営む週末限定のバー「クリブ/ノーネーム」。海岸近くでバーベキューをするたびに「津田の海を見ながらだと、なぜ何もかもうまいのか」という話で盛り上がる。ならば海辺にハンバーガーショップを開こうと決め、バーはその前段階としてオープンした。ノリ小屋をDIYでリノベーション。配管の鉄骨がむき出しのインダストリアルな雰囲気の中、カクテルが飲める。旅の夜、飲み友だちを作りたりにふらり立ち寄りたい。



### 海辺の夜を ぽつんと照らすバー。



CRIB/No name  
(クリブ/ノーネーム)  
香川県さぬき市  
津田町津田1390-4  
毎週金・土曜日



### 優しい朝ごはんから 今日を始める。



暮らし商店 ごんべや  
香川県さぬき市津田町津田1182



## 苺カヌレ

最近人気を集めている「カヌレ」。外はこんがりカリカリ、中はしっとりもちもち食感のフランスの伝統菓子だが、香川県の洋菓子店でもよく見かけるようになった。なかでも春にお薦めはイチゴのカヌレ。道の駅「滝宮」にある地元産のイチゴを使ったイチゴスイーツの専門店では、ホワイトチョコレートの上にドライイチゴが乗ったカヌレが味わえる。春の色と香り、そして味わいが幸せな気分を運ぶ。

【撮影協力】  
うふ、いちご。香川県綾歌郡綾川町滝宮1578

## ミニティアラ

香川県は気候が温暖で年間日照時間が長く、古くから花の産地として知られてきた。その花の世界をリードしてきたのが、香川県農業試験場。この試験場から生まれたのが香川県オリジナルカーネーション「ミニティアラ」シリーズだ。かわいらしい小さな花の花びらは、先が繊細にとがっている。小さな王冠のように見えるので「ミニティアラ」。桜色の王冠「ミニティアラピンク」は、母の日はもちろんお祝いにもふさわしい。

【撮影協力】  
香川県農業試験場 香川県綾歌郡綾川町北1534-1



写真提供：三豊市観光交流局

## おいり

香川県の西部では、婚礼の際に花嫁が近所の家や子どもたちに、愛らしい菓子を配る風習がある。「おいり」と呼ばれるその菓子は、丸亀藩初代藩主の婚儀の折、城下の民が献上したことに由来するという。桜色を中心としたカラフルな見た目から、最近では若い女性からの人気も高まっている。口に入れるとパリッとした食感の後、ふわりと溶ける「おいり」。ソフトクリームなどのトッピングとしても彩りを添える。

【撮影協力】  
細川安心堂 香川県観音寺市柞田町乙27-1



# 香川は桜色。

香川の春は、うらうらと桜色に染まる。美しい桜色、かわいい桜色、おいしい桜色。どれもこれもが気持ちをふわっと舞い上げる。今こそ来てほしい。何度も来てほしい。香川の旅が、心にらんまんの春を届ける。

## しょうない ほんとう 荘内半島

香川県の西端、荘内半島には日本を代表する桜の名所がある。標高352mの紫雲出山山頂から瀬戸内海を見渡せば、春は桜の花がすみ、その向こうに青い島影が浮かぶ。2019年に瀬戸内の島々が「行くべき旅行先」としてニューヨークタイムズ紙で掲載されたのをはじめ、2023年にはフランスを代表する日刊紙「ル・フィガロ」電子版に「日本で桜を觀賞するのに最も美しい場所」の一つとして紹介されるなど、ここにしかない桜色の風景が世界を魅了する。

混雑緩和のため桜のシーズンには交通規制が敷かれ、徒歩以外の入山には予約が必要。詳しくはホームページで確認を。  
<https://www.mitoyo-kanko.com/shiude-access>

リーグ優勝から  
オリンピックへ



## NBA メンフィス・グリズリーズ 渡邊 雄太

バスケットボール日本代表。三木町出身。206㍉、98㍑。小学生の時にバスケットボールを始め、尽誠学園高校では、1年次よりスターターとして全国大会に出場。全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会で2011年、12年と2年連続で準優勝し、大会ベスト5に選出。高校卒業後に渡米し、セント・トーマス・モア・スクールを経てジョージ・ワシントン大学に進学。18年にメンフィス・グリズリーズとツーウェイ契約を結び、日本人2人目のNBAプレイヤーとなった。その後、トロント・ラプターズ、ブルックリン・ネッツで活躍。今シーズンはフェニックス・サンズを経て2月に古巣であるメンフィス・グリズリーズに移籍。2023年のワールドカップでは日本代表の中心選手として活躍し、2024年に開催されるパリオリンピックの出場権獲得に大きく貢献した。

**知事** 香川県出身の渡邊雄太選手が、アメリカのプロバスケットボールリーグ

「NBA」の選手となって活躍し、昨年の夏にはワールドカップの日本代表のメンバーとして快進撃を見せてくれました。高松の中学・高校の部活でバスケットボールに明け暮れていた私にとっても、歓喜と感動の連続でした。それにしてもあれほどスリリングな試合は、めったに見られるものではないですね。

**渡邊** いまだに昨日のことのように、あの

県外に出れば良かったと思ったことは一度もありません。

**知事** 香川で悔いのない高校生活を送り、次はアメリカの大学に進学しました。アメリカ進学を決意し、プロ選手になろうと意識したのはいつ頃でしょうか。

**渡邊** 小さい頃から、NBA選手になりたいという大きな目標をずっと持ち続けていました。その目標のためには、高校卒

WATANABE YUTA

知事対談 渡邊 雄太

IKEDA TOYOHITO

池田 豊人

# 香川から世界へ夢のシュートを

香川県知事

池田 豊人

ふるさとから  
エールを送ります

喜びと興奮がよみがえります。オリンピック出場を目指し、チームみんなで力を合わせてきましたので、やはり最高の瞬間でした。世界的にいえば最近のバスケットボールのスタイルは、展開を速くするのが主流です。最終のフォーオースクォーターから逆転というケースは結構あるのですが、それにしても世界大会で格上のチームを相手に、大差を逆転できたというのは奇跡的なことに見えたと思います。

**知事** 本当に感動をありがとうございます。ま

業後は早くアメリカに行きたいと考えていました。実は英語もほとんど話すことができず、当時は技術面、体格面ともにアメリカ行きはまだまだ大変な時代でしたが、その苦労を経験したおかげで、人としても選手としても大きく成長できたと思っています。結果、NBA選手になることもできましたので、あの決断は自分を変えた大きなターニングポイントでした。変えたと言えば、アメリカへ渡って一番変わったのは、自己アピールができるようになったことでしょうか。

**知事** 日本人は自己主張するのに少し抵抗感を持ちますね。香川県民は特に苦手かもしれません。得意満面で自己主張をしたりすると、方言で「うれしげに言わんの（調子に乗るんじゃない）」と言われるから。でも、アメリカでは「うれしげに言う」ことも必要なんですよ。渡邊選手には、香川県のこともうれしげに語っていただきたいと思いますが、香川県に帰ってきて楽しみにしているものといえど何でしょうか。

**渡邊** 香川県には毎年オフシーズンに帰るようにしていますが、必ず行くのは地元のお店です。僕は本当にうどんが好きで、香川県にいられるのは1週間から長

した。男子代表が自力でオリンピックの出場権を獲得するのは48年ぶりの快挙。今回のワールドカップでパリオリンピックの出場権を獲得できなかったら、日本代表を引退すると公言して臨まれていましたが、画面を通じてチームを背負っている覚悟というようなものが伝わってきました。渡邊選手は小学生の時に香川県三木町のスポーツ少年団で本格的にバスケットボールを始めたと言いました。尽誠学園高校では、1年生からレギュラーとして活躍し、全国大会で2年連続準優勝とベスト5に選出されるなど、輝かしい成績を収められました。高校進学では県外からの誘いもあったと思いますが、最終的な決断はご自身の判断だったのでしょうか。

**渡邊** 高校進学については、両親からアドバイスはもらいましたが、最後は自分で決めました。尽誠学園の練習を見学し、自分もこのチームに入ってバスケットボールがしたいと思えました。何より、色摩拓也先生（監督）の話を伺って、この人に指導してもらいたいと思ったのが大きかったですね。尽誠学園のおかげで香川に残ることができ、そこでいろんなことを教わったからこそ、今があると思っています。

くて2週間ですが、その間に2〜3回は食べに行きます。香川に帰れば、やはりうどんは欠かせません（笑）。アメリカでも、冷凍ですが結構な頻度で食べています。うどんを食べて試合に向かっています。

**知事** これからもうどんパワーで活躍いただきたいですね。昨シーズン終了後にチームを移籍し、新天地で2023〜2024年シーズンを迎えました。今年の夏にはパリオリンピックが開催されます。意気込みや抱負などをお聞かせください。

**渡邊** NBAのシーズンは10月から翌年4月までがレギュラーシーズン。それ以降、上位チームはプレーオフに進出し、6月のファイナルへと試合が続きます。優勝まで進めば6月半ばになるので、それが終わってすぐ日本代表の活動となるのが、自分としては理想です。NBAで優勝し、その経験や自信を蓄えた上で、オリンピックに出場できればと願っています。まずは、目前のNBAのシーズンを二試合、一試合、一生懸命闘い、しっかり結果を出してチームに貢献したいと思っています。

**知事** これからも大活躍を祈っております。今日はお忙しいところ、ありがとうございます。ありがとうございました。

※今回の対談は、2023年秋にオンラインで実施しました。



# 幸せを届ける フルーツバター。

GOOD NEIGHBORS COFFEE  
香川県産フルーツ × 小林美緒子

フレッシュなフルーツの風味が、なんともぜいたくな味わい。お店では、焼き立てサクサクのトーストにのせていただく。溶けるに従って食感の変化を楽しめ、甘さが際立つ、お薦めの食べ方だ。

こんがり焼いたトーストに、こんもりのせて口に運ぶと、新鮮なフルーツの香りとひんやり軽やかな食感が、そよ風のように爽やか。やがてとろりと満足感のあるコクが広がる。香川県自慢のフルーツとホイップバターが出合って生まれた「幸せのフルーツバター」。新食感の спреッドが、人々に幸せを届ける。



香川県オリジナル品種のキウイ「香緑」と飯南のモモを使った「幸せのフルーツバター」。  
2023年度「かがわ県産品コンクール」菓子・スイーツ部門で優秀賞に輝く。



トーストをもっとおいしく味わっていただきたいとパンに塗って焼き上げるスタイルのアーモンドバターと黒糖きな粉くるみバターを最初に開発。丸亀市のふるさと納税品に選ばれたフルーツバターの第一号いちごとアップル&マンゴ―



パンのお供として近年人気のフルーツバター。中でも「幸せのフルーツバター」はさらにひと味上を行く。一般的なフルーツバターは、ジャムなどの中にバターを添加してコクを出すことが多いが、「幸せのフルーツバター」はホイップしたバターの中にフルーツのコンポートをミックスして作る。これにより新たな食感と味の世界が広がった。開発したのは、喫茶店「グッドネイバーズコーヒー」の小林美緒子さんだ。



保存料などは一切加えず、砂糖で煮詰めたフルーツコンポートをホイップしたバターに混ぜるシンプルな製法で、一瓶一瓶丁寧に仕上げている。

を楽しめるようにと、フルーツバター作りを思い立つ。

まずは店で扱う食材を使い、「いちごとアップル&マンゴ―」のフルーツバターが完成。ちょうど、娘がトーストを残すことに悩んでいた美緒子さんが、誰かが安心して食べられるようにとの思いから、余計な添加物は一切入れない。これ

がお取り寄せ情報サイト

## GOOD NEIGHBORS COFFEE 小林 美緒子さん

京都の大学を卒業後、香川県に帰郷。2005年、飲食業経験者の功治さんと結婚。実家のリフォーム業を手伝っていた功治さんが独立を決意。2013年、グッドネイバーズコーヒー1号店を丸亀市に開店。2016年に高松店、2019年に十川店を開店。2019年、十川店でアーモンドバターを作り始める。2020年、各店舗でフルーツバターを提供し始める。2022年「ベストお取り寄せ大賞」パンのお供部門金賞受賞。2023年、県産のキウイやモモに特化したフルーツバターを作り始める。2023年度「かがわ県産品コンクール」菓子・スイーツ部門優秀賞受賞。

「おとりよせネット」の「ベストお取り寄せ大賞2022」パンのお供部門で金賞を受賞。娘は一人であまりの評判の良さに、ストを完食。あまりの評判の良さに、せっかくなら香川県産フルーツを使った逸品を生み出したいと考えた。そこで、長年JA香川県の女性部に所属していた母に相談。香川県が品種開発に力を入れているキウイと、四国一の生産量を誇り、「さぬき讃フルーツ」の認定を受けた飯南のモモに着目した。

「さぬきキウイっこ」や「さぬきゴールド」など数ある香川県オリジナル品種のキウイの中でも、フルーツバターに適していたのが、甘くジュシーな「香緑」。爽やかな甘みの特徴の、キウイのフルーツバターが誕生した。次いで生まれたモモのフルーツバターは、甘い果汁をたっぷり含み、香りの豊かさも楽しめる。どちらも口に入れる途端ふわりと溶けて、ジュシーで優しいフルーツの甘さと、バターのミルク感が口の中に広がり、なんとも言えない幸福感に包まれる。

キウイの生産者に試食をお願いしたところ、「これはキウイの良さが十分に生かされた最高の出来だ」との評価をいただく。実はキウイやモモに限らず、傷が付いたり規格に合わなかったりといった理由で、生果で販売

されない果実は非常に多いという。廃棄量の削減という視点で生産者も喜び、口にした人たちの笑顔を誘う、まさに「幸せのフルーツバター」。

冬のキウイと夏のモモ。生産者の太鼓判もいただき、かがわ県産品コンクールに出品したところ、菓子・スイーツ部門で優秀賞を受賞。次は甘みと酸味、ほどよいジュシーさを考え、県産のかんきつ類を使ったフルーツバターを計画中だ。「香川県は日本一小さい県ですが、量は少なくとも手間暇かけて日本一と言えるおいしい果物が実っています。果実は季節限定ですが、フルーツバターにすればほぼ一年中楽しんでいただけます」と語る美緒子さん。これからも、多くの人を笑顔にするであろう「幸せのフルーツバター」。まずは、あなたの朝に幸せを届けたい。



合同会社グッドネイバーズコーヒー  
香川県丸亀市土器町東9-194  
<https://gnc2013.com/fruitbutter/>

※香川県では、県オリジナル品種を中心とした果物で、県で認定した生産者が栽培し、糖度など一定の品質基準を満たしたものを「さぬき讃フルーツ」として推奨している。キウイやモモなど8品目16品種が認定を受けている。

# 香川愛媛 せとうち旬彩館

KAGAWA EHIME SETOUCHI SHUN SAI KAN

特産品ショップ、郷土料理、観光情報コーナーで香川の旬をぜひどうぞ。

## おかげさまで開館21周年

おかげさまで旬彩館は、3月25日で開館21年目を迎えます。当日は感謝の意を込めて、一定金額以上お買い上げの方に旬彩館商品券をプレゼントする記念キャンペーンを予定！皆さまのお越しをお待ちしております。

注目はこれ！

### 1F 定番から季節の商品まで幅広く取りそろえています。

定番の讃岐うどんをはじめ、だし醤油、ちりめん、しょうゆ豆、骨付鳥、オリーブオイル、和三盆、希少糖を使ったお菓子など、香川でしか買えないものを、常時販売しているほか、春は、桜にちなんだ商品も取りそろえるなど、香川の旬を皆さまにお届けしています。



### 2F 夜のグランドメニューが新しくなります。

「かおりひめ」では、夜のグランドメニューをリニューアルします。開始日は旬彩館ホームページでお知らせします。

新たに、香川のブランド食材などを使ったメニューとして、「オリーブ豚と焼大根の塩角煮」、「小豆島島鱧のはもカツ」、「地エビの唐揚げ」や、デザートとして「しょうゆ豆ジェラート」などの新メニューが登場します！

また、季節ごとに香川ならではの旬の食材が楽しめるメニューも提供しています。ぜひこの機会に、ご堪能ください。

#### 【夜のグランド新メニュー】



〒105-0004 東京都港区新橋2-19-10新橋マリンビル1・2階  
https://www.setouchi-shunsaikan.com  
観光情報コーナー TEL03-3574-2028

さぬき野 春 No.84 令和6年3月15日発行  
企画・発行：香川県広聴広報課  
編集・制作：(株)中国四国博覧堂

ユニークな店が次々とオープンして盛り上がっている「ウラツタ」エリア。道路を渡ってすぐのところには、穏やかな瀬戸内海が広がっています。海を眺めながら、本を読んだり、ご飯を食べたりする気ままな春の旅。海辺の松がざらりと並んだ道を散策しながら、「ウラツタ」巡りをしてみてはいかがでしょうか。

編集長

県立ミュージアム 県HPページID 7699

## 特別展 皇居三の丸尚蔵館名品選 「美が結ぶ 皇室と香川」

本展は、皇居三の丸尚蔵館が収蔵する皇室ゆかりの美術品から、日本美術の名作をはじめ、皇室と四国、香川のつながりなどを紹介します。

伝空海や三跡の名筆をはじめ、伊藤若冲「動植綵絵」(国宝)や御慶事にまつわる品々など64件を展示します。さらに、金刀比羅宮より、修理後に宮外で初めて展示される奥書院の襖絵、伊藤若冲「百花の図」(香川県指定有形文化財)や香川県立ミュージアム所蔵の藤原佐理「詩懐紙」(国宝)など関連する香川の文化財もご覧いただけます。



伊藤若冲「動植綵絵 向日葵雄鶏図」(国宝) 皇居三の丸尚蔵館収蔵

【期間】4月20日(土)～5月26日(日)  
【休館】毎週月曜日(4月29日、5月6日は開館)、5月7日  
【会場】香川県立ミュージアム (高松市玉藻町5-5、JR高松駅東へ900m)  
【料金】一般:1,400円、前売・団体:1,100円  
【問い合わせ】香川県立ミュージアム TEL087-822-0002



## 光と桜が彩る「お庭の国宝」 栗林公園 春のライトアップ

栗林公園は、国の特別名勝に指定されている文化財庭園です。約1千本の手入れ松と四季折々の花々が咲き誇り、木石の雅趣に富んだ庭園美は、園内を歩くたびに目の前の景色が移り変わり「一步一景」と称えられるほどの美しさです。

園内には約300本の桜があり、桜のシーズンには多くのお花見客でにぎわいます。特に「春のライトアップ」は、大変好評のイベントで、満開の桜が「花明かり」となり見る者を心浮き立たせます。また、頭上を覆う桜のトンネル、湖面に映り込む幻想的な光景を楽しむことができます。桜以外の樹木も光と影の陰影により立体感のある力強い姿を鑑賞できます。

美しい庭園美と夜桜のライトアップが織りなす幻想的な空間で、心癒やされるひとときをお過ごしください。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

【令和6年春のライトアップ開催日程】  
3月29日(金)～4月7日(日) ライトアップ時間:18時～21時(最終入園は20時30分まで)

【問い合わせ】栗林公園観光事務所 TEL087-833-7411

※桜の開花状況によっては、開催時期が変更となることがあります。  
※栗林公園に関する最新の情報は、ホームページでご確認ください。

栗林公園 検索



## 香川から海外へ直行便でひとつ飛び! 高松空港国際線、好評運航中



高松空港は、4つの就航地(ソウル、上海、台北、香港)への国際定期便が運航しています。

高松空港の国際線をご利用の際には、空港近隣の駐車料金が無料になるキャンペーンなども実施中。キャンペーンの詳細や最新の運航状況は高松空港のホームページなどでご確認ください。

便利で快適な高松空港の国際線をご利用いただき、香川から海外へ直行便でひとつ飛び! ご旅行に、ビジネスに、ぜひご活用ください。

【問い合わせ】香川県交通政策課航空振興室 TEL087-832-3132



高松空港 検索

香川県ホームページ



県HPページID 香川県ホームページのトップページ上部にある「ページID検索」に番号を入力するだけで該当ページをご覧ください。

(注)掲載のイベントは、中止または内容に変更が生じることがあります。

## 栗林庵は、おかげさまで11周年! テーマは「さぬきのいちごフェア」

栗林公園の東門横にあり、幅広い県産品がそろった店として、観光客だけでなく地元の皆さまにも親しまれている、本県自慢のアンテナショップ「かがわ物産館 栗林庵」。

3月15日(金)から24日(日)に、11周年感謝祭を開催します。

今回は、香川県の特産品である「イチゴ」をテーマに、フレッシュなイチゴを使ったスイーツやイチゴをモチーフにしたデザインの工芸品・雑貨などさまざまな県産品を展示販売します。16日(土)、17日(日)は、さぬき護サンはなやか大使による県オリジナル品種のイチゴ「さぬきひめ」の試食販売を実施予定です。

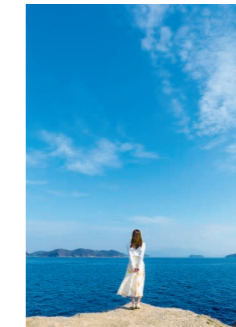
そのほかにも、お買い得な「感謝セット」や栗林庵オリジナルの新商品も発売しますので、ぜひ春の栗林公園散策と併せて、栗林庵に足をお運びください。

【問い合わせ】かがわ物産館 栗林庵 TEL087-812-3155



## 世界の宝石 瀬戸内海へ 出逢い、つながる90年

県HPページID 44687



青く穏やかな海、歴史ある港町や段々畑の風景、大小の島々が織りなす独特の景観。海と島々そのものが、まさに「世界の宝石」。瀬戸内海は、昭和9年3月16日、日本で最初の国立公園に指定され、今年で90周年を迎えます。

今も変わらず、訪れる人の心を癒やしてくれる瀬戸内海。その素晴らしさと大切さを見つめ直すとともに、新たな魅力を演出します。

まずは3月、最初の指定地である屋島から90周年記念行事がスタートし、県内市町や岡山県とも連携して、年間を通じてさまざまなイベントを開催します。皆さまのお越しをお待ちしております。

【問い合わせ】香川県政策課 TEL087-832-3122

